

Wayoまもり隊 防災シリーズ

概要：Wayoまもり隊は、和洋女子大学の学生たちと教員の有志で、地域の防災意識の啓蒙のために活動しているプロジェクトです。2023年度は、全4回の活動を通して、地域の皆様に防災の重要性を再認識していただき、災害発生時の行動力向上に貢献することを目指しました。

1、5月27日「とっさの時に役立つ筋力トレーニング」

於：和洋女子大学

看護学科の新谷奈苗教授による講演「高齢者と災害」。その後、学生による筋力トレーニングのレクチャーを行いました。



50名
参加

2、7月8日「避難所まで歩いてみよう！」

於：和洋女子大学～西部公民館

地域の住民10名、学生、教職員で大学から避難所までの経路の確認と危険な箇所のチェックを行いました。



31名
参加

3、8月5日「あると便利！防災アプリつかい方研修会」

於：和洋女子大学

あいおいニッセイ同和損害保険株式会社の方を講師に招き、防災アプリ「cmap」の使い方の研修会を開きました。



37名
参加

4、8月5日「市川市に提言・発表」

於：市川市役所

上記、7月8日に実施した「地区踏査」によって判明した課題や問題点などを市川市危機管理室に提言しました。



参加者の声「日々のストレッチや災害時歩行非難に耐えられる筋力づくりの重要性が分かった」「このようなイベントのおかげで外出する機会を与えてくれてありがたい」

学生の声「楽しかった、また参加したい、という声をたくさんいただき、やりがいを感じた」「地域の方との交流はもちろん、学年・学部の垣根を越えて活動できたことも貴重な経験になりました」

成果：防災の知識だけでなく、日常生活で行える事前対策を災害時の避難にハンディのある高齢者を対象に実施した点に意義があったと思います。防災に向けての「自助」「互助」の力を高めるとともに、「公助」にもつながる活動であると市川市危機管理室から評価をいただいた。

課題：地域でコミュニティを作られているメンバーが毎回参加して下さったため、今後は、個人でも参加しやすいイベントを開催し、より多くの方々の防災意識の向上に役立ちたいと思います。